

特別支援教育論	2年・前期	2単位 30時間	非常勤講師 清水秀俊
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	37011232

1. 授業のねらい・概要

学生が、特別支援教育についての基本的知識を修得し、特別支援教育をめぐる諸問題に関心を深め課題意識を持つようにすることを目的とする。また、本授業を通して、障害の有無にかかわらず、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の実現をめざそうとする態度を培うことを期待する。

先ず、特別支援教育の理念、歴史や制度、教育課程、自立活動についての基本的事項を説明する。次に、特別支援教育の現状と課題について概説する。次いで、各障害の理解と指導・支援について具体例（養護教諭としての支援例など）を示しながら説明する。さらに、校内支援体制および家庭や関係機関との連携の必要性について述べる。終わりに、障害児者とスポーツ・芸術について言及する。

2. 学修の到達目標

1. 特別支援教育の理念と基本的考え、歴史や制度、教育課程などについての基本的知識を修得し、記すことができる。(D-2)
2. インクルーシブ教育およびそれと特別支援教育との関係について理解し、記すことができる。(D-4)
3. 各障害の定義や特性について知り、記すことができる。(D-2)
4. 障害のある児童生徒の教育的ニーズに応じた多様な指導・支援の方法について知り、記すことができる。(D-2)
5. 特別支援教育を推進するうえでの校内支援体制および家庭や関係機関との連携のポイントについて理解し、記すことができる。(D-3)

3. 授業の進め方

基本的には、配布プリント（授業レジュメ）をもとに講義形式で進めるが、授業に関連する新聞記事・テレビ番組・動画、特別支援学校や障害者団体のホームページなどを適宜紹介し、受講生が関心を深めることができるようにする。

また、毎回小課題や「復習・予習メモ」を提出させるなどして、受講生の感想や意見などを把握し、優れた感想等を次の授業で紹介するなどして、学修への意欲向上を図る。

【アクティブラーニング実施の有無】

アクティブラーニングとして、小テスト・レポートを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：予習と復習におけるインターネットの活用および特別支援学校等のホームページの紹介。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	特別支援教育の理念と基本的考え	講義	予習：特別支援教育について事前に調べる。 復習： 1 授業レジュメを読み返しまとめる。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。	清水秀俊
2	特別支援教育の歴史と制度	講義	予習：	清水

			<p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	
3	特別支援教育の教育課程	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
4	自立活動の理念と指導	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
5	特別支援教育の現状と課題	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
6	発達障害の理解と指導・支援①(学習障害および注意欠陥多動性障害)	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
7	発達障害の理解と指導・支援②(自閉スペクトラム症)	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインタ</p>	清水

			<p>一ネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	
8	情緒障害および言語障害の理解と指導・支援	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
9	視覚障害の理解と指導・支援	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
10	聴覚障害の理解と指導・支援	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
11	知的障害の理解と指導・支援	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p> <p>1 授業レジュメを読み返しまとめる。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p>	清水
12	肢体不自由の理解と指導・支援	講義	<p>予習：</p> <p>1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。</p> <p>2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。</p> <p>復習：</p>	清水

			1 授業レジュメを読み返しまとめる。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。	
13	病弱・身体虚弱および重度・重複障害の理解と指導・支援	講義	予習： 1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。 復習： 1 授業レジュメを読み返しまとめる。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。	清水
14	校内支援体制および家庭や関係機関との連携	講義	予習： 1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。 復習： 1 授業レジュメを読み返しまとめる。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。	清水
15	障害児者とスポーツ・芸術	講義	予習： 1 事前配布の授業レジュメを事前に読む。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。 復習： 1 授業レジュメを読み返しまとめる。 2 本授業に関連する事項について文献やインターネットなどで調べる。	清水

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）50%，小課題30%，授業への取り組み姿勢20%で、総合的に評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点毎に、ルーブリック評価とする。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義の中で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に文書または口頭で提示する。

小課題は、毎回2問出題し、内容は当該の授業でのポイントとなる内容とする。

授業への取り組み姿勢については、授業後の感想や質問の内容（授業の要点に言及しているか、教員としてこう指導したいと述べているか、障害のある人と自分との関わりについて記しているか等）、「復習・予習メモ」の内容（授業の要点を記しているか、分かりやすくまとめているか、授業内容に関わる事項を自ら調べているか等）により、評価する。また、欠席の状況、授業中の私語等も授業への取り組み姿勢として評価対象とする。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

2) 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）

- 参考文献：1) 高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示 文部科学省）
2) 特別支援学校高等部学習指導要領（平成 31 年 2 月告示 文部科学省）

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業レジュメやテキストを読んだり，授業に関連する事項について自主的に文献やインターネットなどで調べたりして予習復習メモにまとめ，60 分以上の予習及び授業内容について 60 分以上の復習を行う。

8. 受講上の留意事項

意欲的，主体的な授業への参加が重要である。授業中の私語等および欠席の状況，復習・予習の状況，感想文の内容等は，参加態度として評価対象とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業終了時に提出する小課題・感想文に対してコメントを付して返却したり，優れた感想・意見などを次回の授業の冒頭に紹介したりする。また，期末試験実施の後，解答を掲示板に掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職必修科目であり，修得できない場合は免許状取得不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

特別支援学校および特別支援学級における教諭としての実務経験を活かして，講義を行う。